

長年活動を続けて実績を残している「こなみ会 歴史愛好会」に入会させて頂きました。5月の「瑞穂区内古き住宅街小路」に続き暑さの和らいだ9月27日(金)9時45分枳中駅集合し散策スタートしました。鏡味リーダーのリードで隼人池―八事球場メモリアルパーク―八事山興正寺の順に散策しました。

当日の実施はグループラインメールで確実に連絡が頂けます。微妙な天候の際は、可否判断が難しいと思います。6月は「中止」の連絡を頂きましたが、確実な判断でメンバーに連絡を頂くことが出来ます。

都度、散策コースの簡単なマップや資料が頂けます。ただ散策するのではなく、こうした資料が頂ける事はより内容が充実します。資料の準備など大変と思いますが、とても有り難く思いました。

散策は、鏡味リーダーの先導で、要所要所で解説や説明をして頂き、また歩く速度に気遣って頂き、楽しく充実した散策となりました。

地下鉄鶴舞線枳中駅出発→隼人池を一周〔農業用の灌漑池として、江戸時代に尾張犬山藩 2代目当主の成瀬正虎公が整備したとされるそうです。〕→南山学園〔山手に建設〕を見ながら→八事球場メモリアルパーク〔1922年に運動具店を営んでいた山本権十郎が私財を投じ、山本球場として開場。日本で初めて民間企業の一経営者により造られた野球場。第1回の選抜中等学校野球大会を開催。本塁があった位置に「センバツ発祥の地」のモニュメントが設置されている。〕→小休止☺お茶と持ち寄りのお菓子で疲れを癒やしました。☺→裏側の道から興正寺〔弘法大師の五鈷杵を授かった天瑞圓照和尚により開山されました。尾張藩二代目藩主・徳川光友公が帰依して、尾張徳川家の祈願所としてその名を知られるようになります。「尾張高野」とも呼ばれ、学問・修行の場、また人々の信仰を集める場とされてきました。エスカレーターで上がった奥の院には、女人禁制の立て札がありました。〕

文責:37期地域B 小野奈穂子

参加者の皆さま



八事球場メモリアルパーク



五重塔と大仏



エスカレーター上がりからの眺め



エスカレーターで奥の院へ

